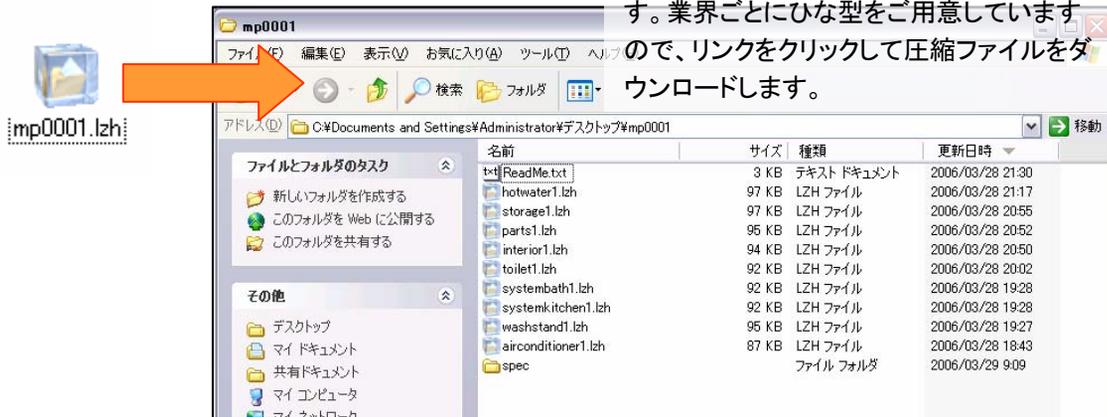


# メーカー横断検索のデータ活用 (1)

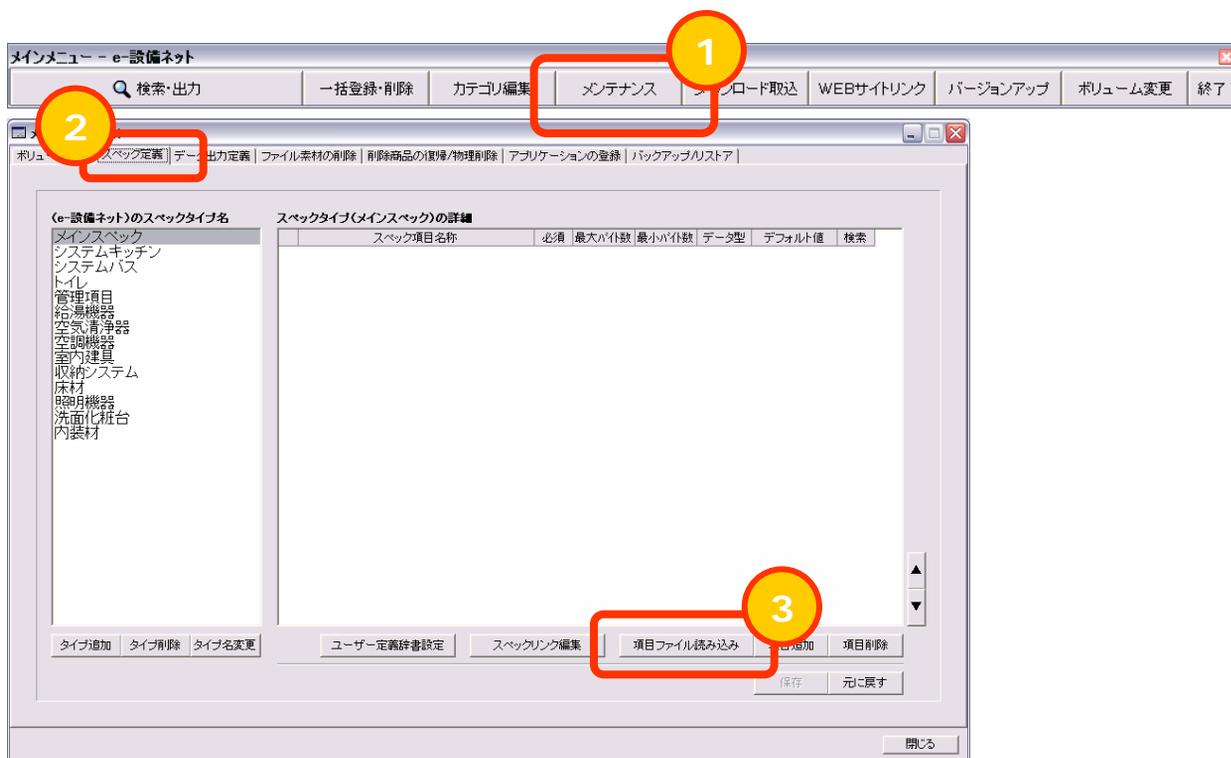
## 1. LZH ファイルをダウンロードし、解凍する

帳票ひな型のダウンロードページへ進みます。業界ごとにひな型をご用意していますので、リンクをクリックして圧縮ファイルをダウンロードします。

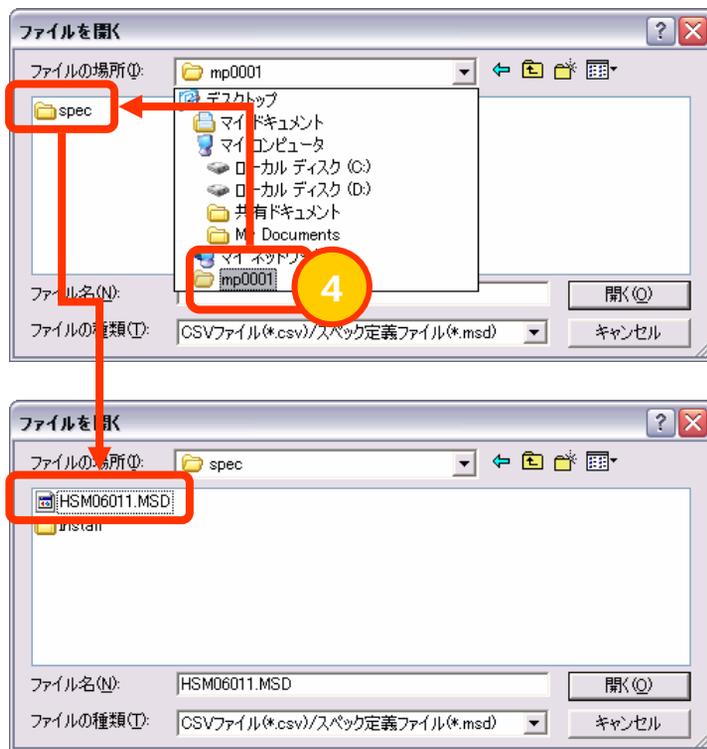


## 2. 次に、eBASE ( eB-ROM ) を起動する – データ読み込み準備

- ① 「メンテナンス」をクリック
- ② 「スペック定義」タブを選択
- ③ 「項目ファイル読み込み」をクリック
- ④ スタートキット内の設定ファイル読み込み
- ⑤ [保存]をクリック

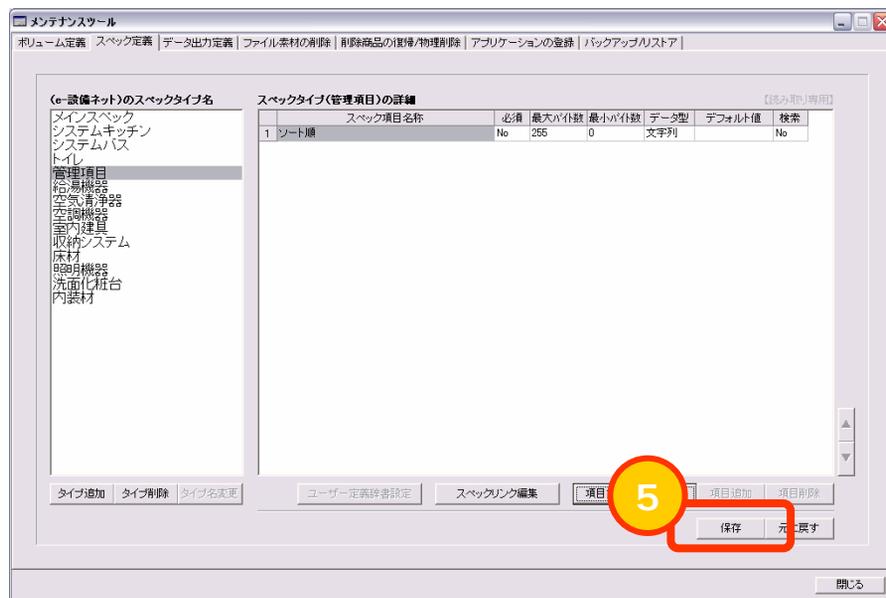


## メーカー横断検索のデータ活用 (2)



ダウンロードして解凍したフォルダ（住宅建材・設備用は「mp0001」、インテリアファブリック用は「mp0002」）の中から「spec」というフォルダを開き、さらにその中の「.MSD」で終るファイル（住宅建材・設備用は「HSM06011.MSD」、インテリアファブリック用は「NIF05011.MSD」）を選択する。

選択したら読み込みが始まるので、すべて完了したら保存する。  
このウィンドウは引き続き使用するので、閉じずにそのままです。

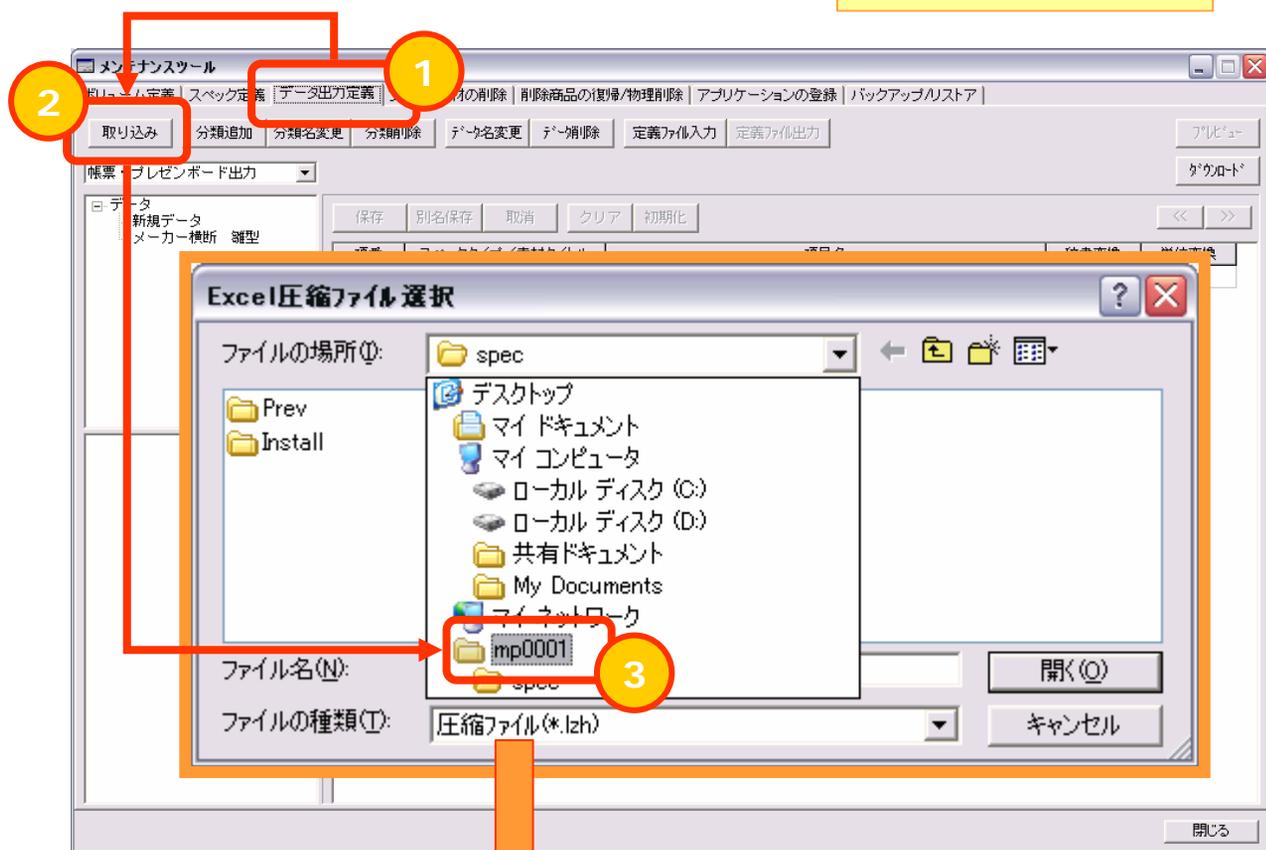


# メーカー横断検索のデータ活用 (3)

## 3. 引き続き eBASE の操作 – テンプレートの設定 –

- ① 「スペック定義」の左隣にある「データ出力定義」タブを選択
- ② 「取り込み」ボタンをクリック
- ③ ダウンロード・解凍したフォルダを開く
- ④ 圧縮ファイルを選択する

圧縮ファイルは、それぞれの業界において、製品分野に対応しています。



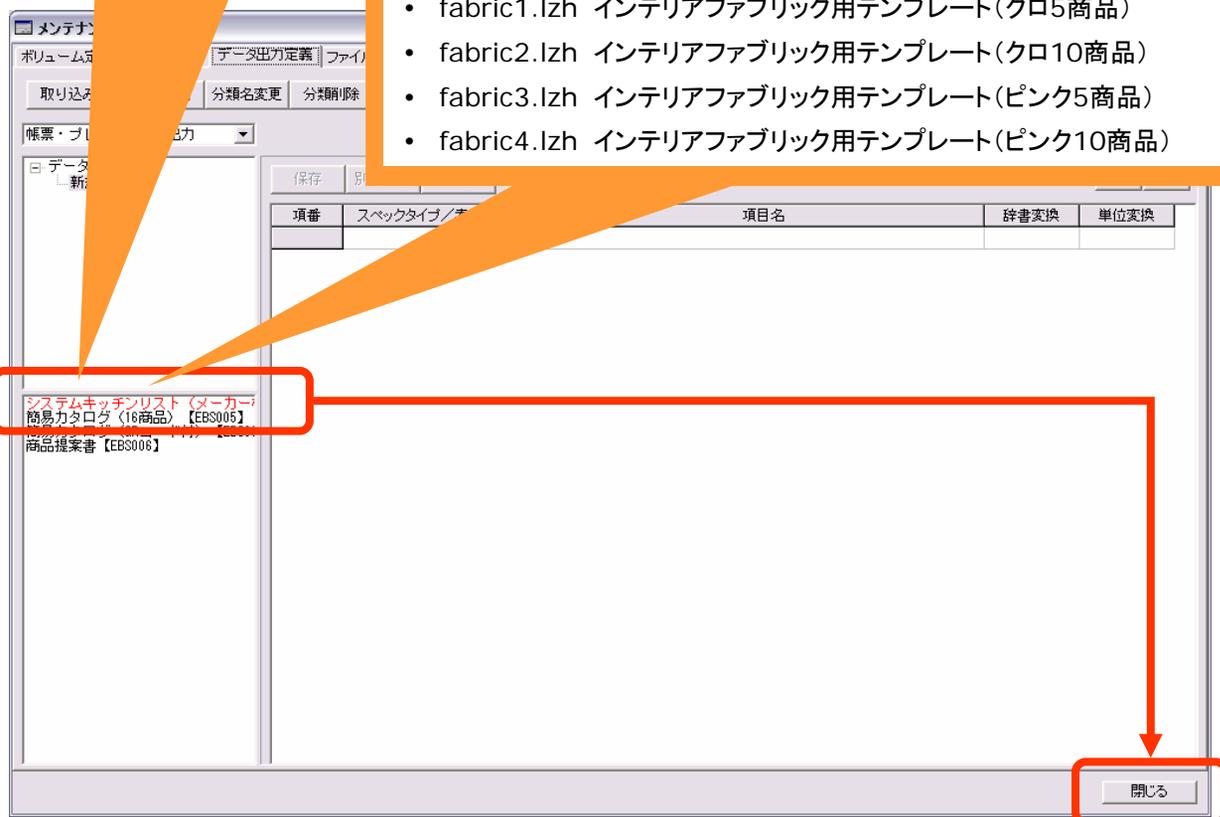
# メーカー横断検索のデータ活用 (4)

## 住宅建材・設備用の場合

- airconditioner1.lzh 空調機器
- floor1.lzh 床材
- hotwater1.lzh 給湯器
- interior1.lzh 内装材
- parts1.lzh 室内建具
- storage1.lzh 収納システム
- systembath1.lzh システムバス
- systemkitchen1.lzh システムキッチン
- toilet1.lzh トイレ
- washstand1.lzh 洗面化粧台

## インテリアファブリック用の場合

- fabric1.lzh インテリアファブリック用テンプレート(クロ5商品)
- fabric2.lzh インテリアファブリック用テンプレート(クロ10商品)
- fabric3.lzh インテリアファブリック用テンプレート(ピンク5商品)
- fabric4.lzh インテリアファブリック用テンプレート(ピンク10商品)



たとえば「systemkitchen1.lzh」を取り込むと、「新規データ」カテゴリの中に「システムキッチンリスト」がセットされます。この要領で、必要な製品分野のテンプレートを eBASE ( eB-ROM ) にセットしてください。

取り込みが終わったら、いったんこの画面は閉じます。

# メーカー横断検索のデータ活用 (5)

## 4. メーカー横断検索から、eBASE 出力でデータを一括ダウンロードします。

- ① 取り込みたい商品を複数選択する
- ② 「選択商品の一覧とダウンロード」ボタンをクリック
- ③ プルダウンで『eBASE 出力』を選択し、「ダウンロード」をクリック
  - ※ ブラウザのポップアップブロック設定を解除しておいてください
- ④ ダウンロードファイルをデスクトップに保存し、eBASE のメインメニューから「ダウンロード取り込み」をクリック
- ⑤ ダウンロードした圧縮ファイルが自動で検出されるので、指示されるとおり『はい』をクリック。完了したら、データは eBASE に取り込み完了しています。

## 5. データをテンプレートで出力します。

- ① eBASE で、セレクトカタログに張り込みたい商品を選択(ブックマーク)します。
- ② 『データ出力』ボタンをクリックします。
- ③ 出力設定のプルダウンで『Excel 出力』を選択します。
- ④ 下方に、テンプレート選択画面が現れるので、ここから出力したいテンプレートを名前を選びます。
- ⑤ データ出力を実行すると、ブックマークした商品が自動で流し込まれます。
  - ※ Excel のマクロ設定を有効にしておく必要があります。

## 6. データを加工します。

- 商品点数が多い場合は、1 ブックに複数シートが自動で作成されます。
- データを流し込んだセレクトカタログは Excel で保存されているので、顧客名・自社名の追加や価格情報の編集、コメントの挿入などが Excel の操作で行えます。
- ファイルの複製や文字の色づけなども簡単です。